

## 仲よし学級5・6組 生活単元学習指導略案

教科等	生活単元学習	単元名	仲よし学級のハローワーク	本時	全10時間抜きの5時間目
学級	仲よし学級5・6組	授業者		教室等	1階 生活科室

### ＜本時の指導＞

＜本時のねらい＞	
相手の言葉を受け止めて話し合えることができる。	○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD
<b>主な学習活動【4つの視点】</b> 主な発問:T 予想される児童の反応:C	○話題設定の工夫 児童にとって、興味・関心の高い「自分や友達の良さ」について話し合うことで相手意識をもって話し合いをすることができるようにする。※焦点化
<b>導入</b> 1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 T: 良いところ見つけをした友達同士で伝え合しましょう。 T: 今日のめあてを確認しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">                         自分と友だちの良さについて伝え合おう。                     </div>	□自分の考えをもって話し合えるよう、前時までに友達の良い所をワークシートに書いておく。必要に応じてそれを見ながら話す。
<b>展開</b> 2. 前時の話し合いの映像を見ながら、話を深めるためのポイントを確認する。 T: ○○くんの「どうしてそう思ったのかな。」と聞くことで良い所を詳しく説明してもらっていたね。 3. グループで話し合いをする。【対話】 T: 友達が見つけた良さを話しましょう。 C: ○○君は運動が得意です。 C: うん、確かに。足がすごく速いよね。 C: 何を見て運動が得意だと思ったの？ C: 鬼ごっこの時、逃げるのが速かったから。 C: 公園でよく走っているからかも。 C: すごいな、頑張っているんだな。 C: □□さんは、どんな良さを見つけた？ 4. 1回目の話し合いを振り返る。 T: 話し合いの様子を映像で見て、どんな所がよかったか振り返りましょう。 C: 良いと思ったところを理由も言っているのがよいと思いました。 C: □□さんは、○○さんのことをよく観察していて、いい所を見つけていいいなと思いました。 C: 私も□□さんと同じことを思ったことがありました。 T: 話し合いから、どんな感想をもちましたか。 C: 私は、みんなから声が大きくて元気がいいと言われてうれしくなりました。これからも、元気よく挨拶をしようと思いました。 5. 1回目の話し合いを活かし、2回目の話し合いを行う。	○話し合いの話題の提示 「言葉の宝箱」として、写真と言葉を提示することで、言葉を使う場面を全員が思い出しやすくする。これまで学習してきた、話型カードを活用する。※視覚化 □各グループに教師や補助員を付け、困った場合に支援できるようにする。 □話し合いの様子をタブレット端末で記録する。 □タブレット端末を活用し、話し合いの様子を振り返る。 ☆相手の言葉を受け止めて話し合っている。(観察、発言) ○活用場面の意図的・計画的な設定 話し合いを2回取り組むことと設定する。1回目の話し合いを振り返り、2回目より良い話し合いにつなげていくようにする。
<b>閉</b> 4. 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	□児童の感想に加え、教師より本時での成長や望ましいやり取りの姿を伝え、価値付ける。

### 【板書計画】

仲よし学級のハローワーク

話し合いにつかおう

自分の良さ、友だちの良さを話し合って、くわしく知ろう

1めあてを知る  
2話し合いのポイントを知る  
3話し合う  
話し合い①  
ふりかえり  
話し合い②  
4発表する。

気持ちよく話すために

さらに会話をはずませるために

### 【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

#### 話題設定の工夫

身近な友達の良さを具体的な場面から見つけ、話し合いにつなげていくことで、自分なりの意見をもって話し合いに臨めるようにした。また、友だちの良い所を話し合う活動は相手意識をもつことが難しい児童にも必然的に友達のことを考える場になると考えた。

#### 話し合いの話題の提示

6つの「話し合いの話題」を「気持ちよく話すために」「さらに会話を弾はずませるために」と2つのグループに分け、それぞれ3つずつのポイントにし、提示する。6つ全てを提示すると情報過多になりがちなどを整理し、個に応じて提示するものを精選した上で、渡すようにする。その子に応じた会話カードを活用させることで、更にめあての達成を図れるようにしている。また、「言葉の宝箱」として、写真と言葉を提示することで言葉を使う場面を全員が想起しやすくする。

(2) 「学び合う」ための手立て

#### 活用場面の設定

本時では、1時間の授業の中で、話し合いを2回取り組むことと設定している。1回目の話し合いを振り返り、2回目より良い話し合いにつなげていく。このように、複数回話したり、聞いたりすることの機会をもつことで、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高めていきたい。